

週報

こひつじ

第40巻 40号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

のがれの町

あなたの神、主があなたに与えて所有させようとしておられるその地に、三つの町を取り分けなければならない。あなたは距離を測定し、あなたの神、主があなたに受け継がせる地域を三つに区分しなければならぬ。殺人者はだれでも、そこにのがれることができる。

殺人者がそこにのがれて生きることができれば次のおり。知らずに隣人を殺し、以前からその人を憎んでいなかった場合である。(申命記一九の二―四)

その一 周到な神の配慮

この章に記されているのは「のがれの町」があった。したがって「のがれの町」についての規定だ。今度はヨルダン川の西に三つ、合

ヨルダン川の西にある約束の地 計六つを「のがれの町」とし、後に入って、そこに住むようになつたに西側の領土が広げられたならば、三つの町を「のがれの町」として取り分けなければならない。さらに三つを追加せよとの命令で

とある。そうなると、制定される「のが

ヨルダン川の東には、ルベン、れ

ガド、マナセの半部族が住んでい

るので、すでにそこには三つの「の

求められた「のがれの町」とは、また「のがれの町」は、国のどこからでも数時間で逃げ込めるよ

だったい何なのか。うな場所に分散されていた。

だれかが過って人を殺した場合、古

代社会では、被害者の家族が、加害者を捕らえ、復讐することがしばしば起こった。

神はそれを望まなかった。

たとえば、ある人が木を切ろうとして斧を振り上げたところ、刃が柄から抜けて、それが隣人に当たってその人が死んだとする。

でも、それは事故であり、過って起こったことなのである。

したがって神は、加害者を、被害者家族の復讐から守るために「のがれの町」をつくられたのである。

ヨシュア記によると、過って人

を殺した人がそこへ逃げ込んだら、や、現代の日本の社会においてはその町の長老はそのわけを聞き、え、旧約聖書に描かれているような彼を保護し、復讐者に渡してはならないと書かれている。

これらはみな、過失致死をした人への恩典だと言つてよいだろう。パートの駐車場で、バックで急発

そう

という目的をもった「のがれの町」を、神は、四国ほどの面積を破損させたことがあった。修理には数万

しかないイスラエルの国に、全部円はかかるだろうと言われ、それで九つ設けよと言われたのである。ぐら

いの弁償は私たちも覚悟して

また「のがれの町」は、国のどこからでも数時間で逃げ込めるよ

うな場所に分散されていた。

しかも距離が測定され、道案内

があり、どれくらいでそこに達することができ

るかの指標が立てられていたとい

うのである。

たとえば過って人を殺した人が、復讐からのがれて、「のがれの町」をめぐすと、分かれ道にさしかかるとそこには道標がある。

「のがれの町へは右へ三キロ」

それを見て、彼は迷うことなく「のがれの町」にたどり着くことができたとい

うのだ。

何と周到な神の配慮なのだろう。はたして日本の古代社会にこの

ような規定があったらどうか。い

え、現代の日本の社会においてさ

な親切が見られることはまれなのではないか。

長男が大学生の頃だが、あるデ

いた。ところが数日後に届いた請求書を見て驚いた。その額は何と六五万円という法外なものだったのだ。

先週の礼拝

洗礼式の報告

その後、建設会社で働く弟に相談したり、弁護士の意見を求めたり、親切な友人が直接交渉してくれり、親切な友人が直接交渉してくれたりして、ようやく最終の請求額は二八万円に落ち着いた。が、それにしてもその弁償額は、私たちにとっては途方もなく高いものだった。

一〇月六日第二礼拝後、すぐに嘉島天然プールに向かい、そこで洗礼式を行いました。

受洗者は、古谷良司さん、徳永めぐみさん、徳永のぞみさん。

この出来事を通して社会の厳しさを痛感した。過ってやったことでも、その賠償となると、しばしば予想をはるかに超えた請求書がつきつけられる。それが一般社会のやり方なのかもしれない。

それぞれ自分の信仰をしっかりと告白してくださいました。これらの信仰の歩みが祝福されるように祈ります。

教会専用車

お便りとアルバム

それを思うと、三五〇年前のイスラエル社会において、過って犯した罪に対してこれほど行き届いた「親切の道」が準備されていたことに驚くのである。(続)

新しい教会専用車が届きました。トヨタ・ヴィッツの中古です。

オランダのモーレンカンブさんから、日本滞在中の写真アルバムと、大津教会の皆さんにはとてもよくしていただいたとの感謝の便りが届いています。アルバムは受付にあります。自由にご覧ください。便りは、英文のまま掲示させていただきます。

宮元さんは、崇城大学に勤め、航空機整備を担当、これからドローンの研究もされるそうです。ご活躍を祈ります。

いくつか安全装置がついたものです。主に運転するのは米村牧師です。十二月で七九歳になりますので安全運転をお祈りください。

今日の礼拝

先週の出席

第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。

礼拝参加者は、第一礼拝が三名、第二が四六名、合計八四名

牧師のメールアドレス
yonemura@ja2.so-net.ne.jp